

③【2か年度(1年目)】芳賀・宇都宮LRTを基軸とした公共交通の利用促進(交通結節機能の高度化)による道路ストックを有効活用する社会実験(栃木県・栃木県芳賀町)

1. 実験概要

LRT沿線外の移動需要等を把握した上で、交通結節点の機能強化や2次交通・3次交通のあり方を検討し、多様な交通モードの実証運行を行い、当該地域に適した交通形態を選別していく。

2. 今年度の調査内容、調査結果

- ①芳賀工業団地TC利用者等のプローブを用いた分析
⇒芳賀工業団地TC利用者等のP&R状況を分析
- ②芳賀町民へのアンケート調査
⇒高齢者の移動の課題、移動需要について把握
- ③収集データの分析及び芳賀工業団地TCに適した端末交通の検討
⇒民間企業と連携した、カーシェアリング、移動支援モビリティ等の実証実験を検討



▶プローブの分析状況

- ②移動支援モビリティの実証実験(2次交通と3次交通の拠点強化)
→P&Rの効率化、高齢者の公共交通への転換、周辺部の公共交通が脆弱という地域課題
- ③移動支援バス(3次交通の強化)
→周辺部の公共交通が脆弱という地域課題



▲適した端末交通の検討状況

10

3. 意見と対応

有識者等からの意見

実験前後を比較できるよう、次年度もデータにより検証していただきたい。

道路空間の活用という観点で社会実験に取り組んでいただきたい。

シェアサイクルが端末交通で果たせる役割があるのではと考えるので、自転車の活用についても検討いただきたい。

意見への対応

次年度もデータにより道路環境の変化を検証できるよう進めていきたい。

端末交通の充実により、LRTの利用が促進され、道路環境が改善されるという観点で実施している。データによる検証と合わせ取り組んでいきたい。

自転車活用推進については、観光の視点からも有効性を検討していきたい。

(次頁へ続く)

③【2か年度(1年目)】芳賀・宇都宮LRTを基軸とした公共交通の利用促進(交通結節機能の高度化)による道路ストックを有効活用する社会実験(栃木県・栃木県芳賀町)

有識者等からの意見	意見への対応
シェアサイクルの利用者へのヒアリング等を踏まえて、検討してほしい。	今年度、20～30件程、利用者アンケートを回収している。アンケート結果を検証し、端末交通の検討に活かしていきたい。
新たなモビリティの実証実験の際には、使われなかったことの意向を確認するとニーズが見えてくるので、移動時間の比較や金額、サービスなどを検証し、公共交通の再編につなげていただきたい。	新たなモビリティの実証実験の際には、利用者等から様々な意向を確認してニーズを把握するとともに、本地域に適したサービスを検討できるよう、調査項目を設計していきたい。

4. 次年度の社会実験メニューとその内容、スケジュール

実験メニュー	実験内容
カーシェアリングの導入実験(今回の申請対象)	芳賀工業団地TCにカーシェアリングを導入し交通結節機能の拡充を図る。交通結節点(芳賀工業団地TC)から観光拠点(町中心部・道の駅はが)への新たな移動手段とし、各施設の機能の拡充を図る。
EV車充電スポットの構築	交通結節点(芳賀工業団地TC)と観光拠点(道の駅はが)に充電スポットを設置し、各拠点の機能拡充を図る。
道の駅はが周辺における道路空間の人中心の空間創出の実証実験	道路上において民間企業と連携した自動運転車両の展示等を行うことで、車中心の空間構成から人中心の空間(滞留のための空間利活用)への転換を図る。
高齢者への新たな移動支援と公共交通との接続に係る実証実験(今回の申請対象)	高齢者の身体状態に合わせた乗換できるモビリティにより高齢者の外出支援を行う。また、民間企業と連携したモビリティの提供及びモビリティ適合性の検証を行う。

<スケジュール>

- | | |
|------------------|---------------|
| ➤ 令和7年4月～5月 | 事前実施調整 |
| ➤ 令和7年6月～12月 | 実証実験の実施、データ収集 |
| ➤ 令和7年11月～令和8年2月 | データ分析 |
| ➤ 令和8年3月 | 協議会実施 |

5. 評価

- ・ 順調に実験が進んでいる。
- ・ 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。